

2021 年 3 月 5 日

作業療法部門 責任者 様

一般社団法人 日本作業療法士協会

会長 中村 春基

<公印略>

2021 年度新人作業療法士の入職にあたって配慮のお願い

謹啓 日頃より協会活動にご理解・ご協力賜り深く感謝申し上げます。昨年からの新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、日々その対応に尽力されていることとお察し申し上げます。対象となる方へ安全な環境で作業療法を実施し、このような状況下でも活動と参加を推進されている会員諸氏のご努力に敬意を表します。

さて、2021 年度に資格取得し就職する新人作業療法士の多くは、コロナ禍にあって、養成校及び養成施設でできる限りの工夫に取り組み、臨床実習体験に近づけるよう努力を重ねておりますが、実際の医療機関や介護施設等、現場での臨床実習を例年のように経験することができおりません。

当会としましては、都道府県作業療法士会と協力し、それらを補うための研修、新規入会者同士及び経験者との交流、事例検討会等、新人作業療法士が職業人として成長できるよう支援してまいり所存ですが、貴施設におかれましても、この 3 月に国家試験を合格し、入職予定の新人がおられる場合は、下記の点にご配慮いただき人材育成に当たっていただけましたら幸いです。

すでに新人教育について特段の配慮をご検討いただいている施設もあるかと存じます。これからの作業療法をつくる仲間として、貴施設、都道府県作業療法士会、当会とで協力して新人作業療法士の育成に取り組めましたら幸甚です。

謹白

記

配慮いただきたい点

- ・臨床実習ができていないこと自体を必要以上に重く受け止め、自分を過小評価したり、本来もっている力を発揮できないことが懸念されます。実習できなかった経験をカバーしつつ、潜在的な能力をうまく引き出していただけるよう、特に入職時の伴走をお願いいたします。
- ・対象者や他職種との接し方、コミュニケーション等の会得に時間がかかるかもしれません。先輩の行う具体的場面の見学機会をなるべく多く設けてあげてください。
- ・臨床に身を置くという経験が少なかったために、状況に応じて的確に判断し行動できるための暗黙の基準や現場感覚を身につけるのに例年より時間がかかるかもしれません。入職後の課題の一つとしてご指導をお願いいたします。

以上